

平成29年度第5回市民と市長の対話集会

市長と語ろう！

ほっとミーティング

テーマ ひらつかの「子育て・高齢福祉・安心安全」

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成29年(2017年)10月25日(水)
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 須賀公民館 2階ホール
- 3 参加者 10人 傍聴者 19人



ほっとミーティングの様子

4 市長あいさつ

皆さんこんばんは。本日は雨の中ですが、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただき誠にありがとうございます。また、日頃、皆さんにはそれぞれの立場で、地域のまちづくりに尽力いただいております、重ねて御礼を申し上げます。

ほっとミーティングは、地域の皆さんのお話を伺い、御意見や御提案を市政に反映することを目的とし、取り組んでいます。平成23年、市長に就任した一期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。翌年は、それぞれの地区の魅力を活かすような意見を伺うため、まちづくりをテーマとして実施しました。

平成27年、二期目以降は、今後目指すまちづくりの計画として策定した「ひらつかNEXT」を基にした対話集会を実施しています。

御存じのとおり、全国規模で少子高齢化が進み、人口が減少しています。本市も例外ではなく、行政運営が継続できるかどうか厳しい時代を迎えています。本市では、平成22年11月の26万863人をピークに人口が減っている状況です。ここ数年で、人口は戻りつつあるものの、依然として厳しい状況です。神奈川県も、来年をピークに人口が減っていくのではないかと聞いています。

国からは、自治体が存続するため、それぞれの地域で抱えている課題を踏まえ、将来を見据えた戦略をたてるように、との指示がありました。

そこで、平塚市は今後目指すまちづくりの計画として、新たな総合計画「ひらつかNEXT」を策定しました。計画の重点施策を、「強みを活かしたしごとづくり」と「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」、「安心・安全に暮らせるまちづくり」として、このほっとミーティングでは、「子育て・高齢福祉・安心安全」をテーマに、市民の皆さんから率直な御意見を伺って市政に反映したいと考えていますので、よろしく願います。

また、本日はできる限り私からお答えさせていただきますが、中にはこの場でお答えできないこともあるかと思えます。その際には、事務局から担当課への確認を行い、皆さんにお伝えさせていただきます。本日はよろしく願います。

5 主なミーティングの内容

①子育てについて

【参加者】

平塚駅南口は、景観条例により整備されてきれいになりました。しかし、自転車を止める場所がないため、駐輪場を整備してほしいです。特に、お子さんを乗せている若い世代が気軽に止めることができるようにしてほしいです。

【参加者】

子育て世代の切実な問題は、人手と時間が足りないことです。共働きの御両親がお子さんの面倒をみる負担を減らすことはできないでしょうか。例えば、中学校で給食を実施することで、負担を減らせるのではないのでしょうか。

【参加者】

市内の小学校の間で、学力に差があると感じます。市として、どのような教育方針をもっているのでしょうか。

【参加者】

急に熱が出てしまったりする子を預かってくれる施設がありません。その場合にどう対応することができるのでしょうか。

【市長】

駅前の駐輪場ですが、北口はおおむね場所を確保していますが、南口は確保が不十分です。JRに協力いただき駐輪場を整備しましたが、まだ足りていません。候補地を探しながら調整を進めていますので、担当課に取り組みの状況を確認します。

共働き家庭が増え、お子さんの保育が難しくなっていることは課題と認識しています。行政として、どこまで支援ができるか検討していく必要があります。子育ての支援策として、今年から子育て世代包括支援センターを整備し、保健師や助産師からの相談体制を充実させ、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援が可能になりました。また、小児医療費の無料化についても、中学校3年生まで拡充しています。安心して働きながら子育てができる環境づくりについては、待機児童対策や放課後児童クラブの整備等、引き続き進めていきたいと考えています。

平成24年度の学校給食検討委員会の検討報告では、子どもたちの安心安全を目的とした校舎の老朽化対策を優先して実施するために、中学校給食の実施は難しいとの判断がありました。現在、本市では、家庭からの弁当持参とともに、当日の朝に弁当を注文できる業者弁当方式を導入しており、子どもたちの昼食確保や保護者の負担軽減に努めています。それでも、中学校における学校

給食への要望が多くあることは把握しています。将来的には、完全給食が実施できればと考えています。

子どもたちの学力ですが、全国平均と比較しても、極端に落ちているわけではありません。ただ、若干、主として「知識」に関する問題よりも「活用」に関する問題に難があると聞いています。学力を上げるということは、単純に点数を高くすればよいというものではなく、個人の生き方など、生きる力を育むことだと考えています。教育の独立性を確保しなければならない観点から、市長として積極的に介入することは控えますが、子どもたちが真摯に勉強に向かうことができる環境づくりをより一層進めていければと考えています。将来的には、子どもたちが本市の礎を築く存在として、能力を発揮してもらえることを望んでいます。

病後児保育は、利用できる保育所があります。病気になった際の保育の受け入れ先は現在ありませんが、必要性は認識しているところです。

担当課回答（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

平塚駅南口の駐輪場について

買物等で気軽に利用できる一時利用の駐輪場については、本来、駐輪需要を生じさせている商店会や各店舗、施設による整備が基本であると考えています。しかしながら、用地等の課題により即座の整備が困難であることを配慮し、本市では平塚駅南口ロータリーの近くに2時間無料の八重咲町第2駐輪場を放置自転車対策の一環として整備しました。当該駐輪場には収容台数に余裕がありますので、こちらか、若しくは比較的空きが見られる民間駐輪場の御利用をお願いします。

（事務担当は交通政策課自転車対策・交通安全担当）

②高齡福祉について

【参加者】

港地区には皮膚科はありますが、内科診療を受ける診療所がありません。高齢者が地域のかかりつけ医を確保しづらい状況です。そのため、診療所まで送迎ができる巡回バスがあればいいと思います。巡回バスは通院だけでなく、買い物利用もできるようにすれば便利ではないでしょうか。

また、予防医療という観点から、気軽に健康診断を受診してもらうためにも、自治会館で健診ができるようになれば、受診率の向上につながるのではないのでしょうか。

【参加者】

元気なうちに高齢者施設に入所ができればと考えていますが、入所するのに莫大な費用がかかります。所得が低い高齢者でも、入所ができる施設を整備してほしいです。

【参加者】

健康で元気な高齢者が生きがいをもって生活できる支援を積極的にしてほしいです。生涯学習の場として、公民館でのサークル活動を利用しやすくしたり、各町内においてサロンを設置してほしいです。働きたいという高齢者のための受け皿があればと思います。

【参加者】

港地区は自治会が活発で、民生委員や地区社協は自治会からの推薦です。自治会を中心とした組織形態と比較して、港地区の町内福祉村がどう先進的であるか伺いたいです。

【市長】

港地区が医療過疎地であるという認識はありませんでした。担当課に伝えたいと思います。実際にどういった対応ができるのか、地域の実情を把握したうえで、検討していきたいと思います。

巡回バスの要望については、多くの御意見をいただいています。高齢者の方が病院や買い物に行くなど、日常生活を送るためにも、公共交通機関の整備は喫緊の課題だと認識しています。神奈川中央交通株式会社には、現在の路線バスだけでなく、小回りが利くような交通網の整備をお願いしているところです。本市としても、より具体的にデマンドバスがよいか、巡回バスがよいか、地域と連携をとりながら検討をしていきたいと考えています。

自治会館での健康診断の実施についてですが、担当課に伝えたいと思います。現在は保健センターに来ていただいているのですが、受診率が低いので、受けてもらうための方法の一つとして、検討していきたいと思います。

特別養護老人ホームは、要介護度3～5と認定された方が対象の施設のため、お元気な方は対象外の施設です。お元気な方が対象となる施設には、軽費老人ホーム等があります。

介護が必要な方への支援と同様に、元気な高齢者に対しても、生き生きと生活ができるよう、各地域に応じた支援の受け皿ができればと考えています。様々な生涯学習の場がありますから、積極的に利用いただきたいと思います。高齢者の雇用については、平塚市生きがい事業団が気軽に相談に応じることができます。公民館の利用方法については、公民館に直接御要望をいただき、あり方を検討できればと思います。

町内福祉村は、介護予防・日常生活支援総合事業の一部を行っており、地域で支え合う仕組み作りを担っています。地域包括ケアシステムの模範として、厚生労働省でも、先進的な事例として取り上げられ、誇れる制度だと考えています。港地区も含め、それぞれの地域において、町内福祉村が地域に役立っているという報告を受けています。

③安心安全について

【参加者】

平成28年度に、湘南海岸公園の一部を道の駅として作る計画があり、その際に海岸エリアを整備する計画も含んでいましたが、地域住民の反対で頓挫してしまいました。海岸エリアの整備計画には、津波情報伝達施設や避難経路誘導サイン等、避難タワー等の整備計画がありました。港地区では津波の心配がありますので、こうした整備計画を進めてほしいと思います。

【参加者】

通学路の安全対策をより一層進めていただきたいと思います。港地区は、学校が隣接している地域で、通学路で防犯パトロールをしています。学校周辺の暗い道無くすことで、不審者が発生しづらくなるのではないのでしょうか。防犯街路灯の整備も進んでいますが、まだまだ幹線道路において暗い場所がありますので、明るくしてほしいです。

また、市の防犯に対する考え方を市民に周知をしてほしいと思います。警察の後追いではなく、独自の防犯対策を積極的に発信してほしいです。

平塚市は犯罪のイメージがついています。その一つの理由として競輪場があるのではないのでしょうか。競輪に来る人の雰囲気少なからず影響しているのではないのでしょうか。また、駅の南口には、競輪の啓発ポスターが貼られていますが、スポーツの良さを感じさせるものではなく、ただただセンスの無いポ

スターが掲示されています。せつかく、平塚市に来た方も、いいイメージを持ってくれません。

【参加者】

3年くらい前に、市内にある土屋霊園に申し込みをするために、みどり公園・水辺課に問い合わせをすると、新規の申し込みは受け付けられないと話がありました。市で新たな霊園を作る予定がないのであれば、公園墓地のようなものでもいいので、整備していただきたいと思います。

【参加者】

主人が血糖値を計測すると、急に血糖値が上がることがありました。それは市販されているソースに使われている「ブドウ糖果糖液糖」の影響だと分かりました。何気にかけている調味料やパン、清涼飲料水に使われているようです。糖尿病などの病気につながりやすい危険性もあり、病気を防ぐため情報提供を進めてほしいと思います。

【市長】

平成28年度の湘南海岸公園の計画は見直すことになっています。海岸エリアの魅力化について、2020年のオリンピック・パラリンピックを目標に、それに向けて進めていきたいと考えています。龍城ヶ丘のプールの跡地を含めた海岸エリアについて、海の自然を感じる魅力的な場所にするために、全国的にも初となる「Park-PFI」(P-PFI)制度を活用し、公募した民間事業者の資金やノウハウを活用した整備を目指しています。

避難タワーなどの安全を確保できる場所、エリアをつないで情報が得られる仕組みなどの安全対策が必要になります。平成24年、神奈川県が想定した津波の高さは6.9メートルでしたが、見直し後は9.6メートルです。最悪の場合、国道134号線を超えてくる可能性も含め対策をしなければなりません。

競輪場については、避難の拠点になるよう整備をしました。備蓄なども含めて、港地区の方々が必要時に役立つ施設としています。

港地区の皆さんには、積極的に防犯活動をしていただいております。感謝しています。自治会の防犯街路灯については、平成28年度に本市が移管を受け、LED化を完了しています。港小学校の東側の歩道の街灯について、少ないようであれば、自治会総意の要望としてあげていただき、対応を検討したいと思います。

私自身は、平塚市が危ないというイメージはないのですが、体感治安についての不安の意見はよく聞きます。人口比率から言えば、犯罪発生率は県内でも高くはありません。そうした悪いイメージの払拭のためには、住んでいる皆さんが、安心して暮らせる街であるということを発信していくこと。また、本市としてもプロモーション活動を進めていくこと。それぞれを着実にやっていくこ

とが必要だと考えています。もちろん、一朝一夕でイメージが変わるわけではないので、着実に進めたいと思います。

本市の防犯に対する考え方ですが、警察と常時連携をしていくなかで、なかなか新しい政策を講じることは難しいのですが、「ほっとメールひらつか」などで防犯情報を積極的に発信し、注意喚起をしていくことで安心安全に寄与していきたいと考えています。防災行政用無線も活用しながら、目に見える形で、安全を実感していただきたいです。

競輪場については、平塚市の歴史を語る上で重要な役割を果たしてきた施設です。ただ、地域に対して、御迷惑をおかけしている部分もありました。今後は競輪場という施設を生かした形で防災の拠点としての位置づけを強めていきたいです。また、競輪の悪いイメージを払拭するよう、イメージアップに努力しないとイケません。プロモーション活動の一環としてのポスターですが、気分を害されるようなものであれば、控えるようにしなければならないこともありますので、担当に伝え、内容について研究していきます。

霊園の整備についてですが、現在、新たに霊園を作る計画はありません。現在では、樹木葬や合同の納骨堂など、葬祭に対する考え方も多様化しており、霊園内に簡易な施設を作ることができるかどうか検討していきたいと思います。

血糖値については、私も詳しくなくて申し訳ないのですが、「ブドウ糖果糖液糖」がどのような成分であるのか、情報提供をしていく必要があると思います。食の安全については、地域にある「ママの会」などで、地域に伝えていただいています。また、神奈川県平塚保健福祉事務所を通じて、身体への影響等の啓蒙活動ができるかどうかのお願いはしていきたいです。特に、糖尿病患者が増加していると聞いていますから、糖尿病の重篤化を防ぐという意味でも、広く市民に対し、情報が伝わるようにしなければなりません。

担当課回答（集会後、次のおり担当課に確認しました。）

霊園の整備について

現在、新たな霊園や公園墓地を整備する計画はありません。

土屋霊園については、すべて整備が完了しており、現在使用されている方から返還の申し出があり一定数に達した場合、募集を行っています。

募集時の詳細については、事前に本市ウェブや「広報ひらつか」等で周知を行いますので、応募条件等、内容を御確認のうえお申し込みください。

（事務担当はみどり公園・水辺課公園管理担当）

6 市長によるまとめ

本日は皆さん、率直な御意見をいただきまして、ありがとうございました。

港地区の皆さんは、この地域を愛し、課題を認識いただいています。それを受けて多くの御意見や御指摘がありました。感謝いたします。

お聞きした内容は、地域の課題もありますし、本市全体の課題もありますので、一つ一つ整理をして、反映すべきところは反映したうえで、市民の皆さんの住みやすいまちづくりに寄与していきたいと考えています。

港地区は競輪や須賀港もありますし、本市にとってたいへん歴史の深い場所であり、お世話になっている地域です。この地域に住んでられる方が、いつまでも元気で生きがいをもって、日常を送ることができるよう、本市として取り組んでいきたいと思えます。本日はありがとうございました。

アンケート結果報告

【アンケート回答数 17件】

問1 市長の説明や市長との対話はいかがでしたか。

よかった	10人
まあよかった	4人
どちらともいえない	1人
あまりよくなかった	1人
よくなかった	0人
回答なし	1人

問2 本日の「ほっとミーティング」の御感想について

- ・参加者の皆さんがそれぞれの思いを話されたと思う。
- ・地域の身近な問題点がわかり、それに対する市長の見解が聞けて良かった。
- ・市長の真摯で明快な応答に大変ためになりました。
- ・回答は丁寧で良かった。継続的に行ってほしい。
- ・港地区の皆さんの問題意識が高いことがわかりました。的確にご意見をいただいたと思いました。
- ・1件ごとに真摯に応答してもらいました。ありがとうございました。
- ・それぞれの立場の中で、いろいろな意見や要望があり、とても勉強になりました。市長もテキパキとお答えいただき、とてもわかりやすかったです。
- ・いろいろなことを話すことができて良かったです。
- ・参加者の問題意識が高く驚いています。市長の考え方を理解できました。
- ・自分の知らない問題提起があつて、参考になりました。
- ・参加して感じたことは、市が私たちに何をしてくれるのではなく、私たちが市と何ができるのかを考え行動する時代になってきたのではないかと思います。
- ・市長をはじめ、出席者のみなさん、おつかれさまでした。
- ・市長の回答を含め、参加者の発言の中身が濃く、非常に参考になりました。後は、提案をできるだけ早く検討をお願いしたいです。
- ・何か月に1回、開催してほしいです。
- ・市長が個々の意見に対し、ひとつずつに丁寧に答えてくださったことに感謝しています。
- ・まだまだ言いたいこと聞きたいことがありましたが時間が足りませんでした。